



Vol. 14, No. 7

Acta Urologica Japonica

July, 1968

泌尿器科紀要

第 14 卷 第 7 号

1968年7月

随想 腎の血管について.....	江口 季雄	365
泌尿器腫瘍と酵素		
VI CdCl ₂ による実験的マウス辜丸腫瘍組織ならびに血清の Lactic Dehydrogenase (LDH), Alkaline Phosphatase 活性ならびに LDH Isozymes について.....	石部 知行	367
先天性尿道直腸瘻の治験例.....	太田 謙・竹内 正文・八竹 直	373
陰嚢に原発した腺癌の1例.....	高橋 香司	377
若年性高血圧症に見られた多発性腎内動脈瘤の1例.....	河西 宏信・前川 正信・新 武三	389
孤立性腎嚢腫の1例(附 統計的観察).....	江藤 耕作・鈴木 卓	396
血友病性血尿についての考察.....	樋口 正士	401
前立腺肉腫の2例.....	進藤 和彦・齊藤 泰	411
尿路外傷と交通事故.....	友吉 唯夫・福田 泰久・竜見 明・柴 務・福原 公・速見 晴朗・長浜 通正	419
原発性腎盂尿管腺癌について.....	早原 信行・前川 正信・新 武三	433
胃癌を原発とする転移性副辜丸腫瘍および精索腫瘍の各1例.....	小宮 俊秀・小金丸恒夫・福田 和男	439
— コンレイ400 特集 —		
30w/v % Conray (300ml vial) による Continuous Infusion Urography.....	久世 益治・森川 進・吐師 正知・福山 拓夫	447
逆行性腎盂撮影に対する Sodium iothalamate 66.8% (Conray 400) の使用経験.....	多田 茂・森 脩・斎藤 薫	455
Sodium iothalamate 66.8% (Conray-400) の臨床経験.....	柏井 浩三・木下 勝博・結城 清之	460
泌尿器科領域における DR-108 の使用経験.....	押木 貞雄・会田 靖夫・柳沢 温	465
排泄性腎盂撮影における Conray-400 の造影効果について.....	赤坂 裕・今村 一男・甲斐 祥生・中西 欽也・丸山 行孝・菅 孝幸・近藤 常郎・中川 長生・落合 元宏	472
新尿路血管造影剤 DR 108 の泌尿器科領域における使用経験.....	酒井 晃・細川 靖治	480
Conray 400 による静脈注射腎盂撮影について.....	生亀 芳雄・工藤 三郎・小川 秀弥	485
新尿路血管造影剤 DR-108 (コンレイ400) の使用経験.....	落合 京一郎・池上 茂	489
Conray 400 による排泄性腎盂撮影.....	石部 知行・溝口 勝・松木 暁	496
編集後記・購読要項・投稿内規.....		504

贈

禁 帯 出

泌尿紀要

Acta Urol. Jap.

到着後 1ヶ月間

京都大学医学部泌尿器科学教室
Department of Urology, Faculty of Medicine.
Kyoto University, Kyoto, Japan
Editor: Prof. Tokuji KATO

編集後記

いよいよ盛夏を迎えて蟬の声もひとしきり、あちこちにはられたビラもとられ、休みになってやっと静かな大学らしくなった。しかし、本夏は学生ストのお蔭で皮肉にも8月初旬まで補習講義が予定されている。一体医学教育の改革といっても色々あるが、特に最良の方法はないようで、先日も岡大の高原教授を招いていわゆる岡大方式の教育法に関する話を伺い、色々得るところもあり、また考えさせられる点も多かった。この頃の学生は月並の講義をうけることに興味がないらしいので7月中は小生はじめ助教授、講師各々得意とするところについて特別講演をすることにした。手術見学、ベットサイドティチング、カンファランス等スト後は却って熱心に出席しているようで、兎も角トゲトゲしい今までのムードが少しづつとれて行くようだ。

さて今月号は造影剤コンレイに関する論文が多かったので一括特集号とした。また、随筆にはかって病理学会で腎の血管について宿題講演をされた江口博士を頼わし玉稿を戴いたので掲載することにした。

購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料1,800円(送料共)を前納していただきます。
分売は1冊150円(送料別)。払込みは振替口座番号 京都 4772番 泌尿器科紀要編集部、あるいは第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、振替または銀行払の別を御記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込み下さい。
4. 新規に個人で入会の方には最初の1年購読料1,000円の特典を設けます。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にして下さい。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず欧文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいて下さい。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。御希望の場合は当編集部にて翻訳しますので、抄録用の和文原稿を別に作成して下さい。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプライターを使用して2行の間隔をあげ、和文表題と和文抄録をつけて下さい。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位はm, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ , %, pHなどを使用し、は不要です。またBUN IVP NPN PSP TURなども、を要しません。
6. 表、図、写真等はすべて別紙とし、本文中に挿入個所を指示して下さい。説明は和文、欧文を問わずTable 1, Fig. 2等として下さい。
7. 文献の書式は次のようにして下さい。
A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)
例 1) 中野: 泌尿紀要, 1: 110, 1955.
2) Lazarus, J. A.: J. Urol., 45: 527, 1941.
文献名は正式略称を用いて下さい。
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿紀要; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等
B 単行本の場合 著者氏名: 書名. 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
例 1) 加藤篤二: 日本泌尿器科全書. Vol. 5, p. 175, 金原出版 & 南江堂, 東京, 1960.
2) Dean, A. L. & Dean, A. L., Jr.: Urology edit. by Campbell. M. F. 2nd edit., Vol. 2, p. 1229, W. B. Saunders Co., Philadelphia, 1963.
8. 掲載料の著者負担は4頁まで毎頁600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等は実費を申し受けます。別冊20部は無料、それ以上は実費をいただきます。あらかじめ希望部数を申し込んで下さい。特別掲載も考慮します。
9. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行いません。
10. 原稿は最終的に返却致しません。
11. 原稿到達日を受付日とし、予約による受け付けは致しません。
12. 原稿送り先は606京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便。

泌尿器科紀要 第14巻 第7号 昭和43年7月25日 印刷 昭和43年7月31日 発行
定価150円(送料別)

編集発行人 加藤 篤二 顧問 稲田 務 発行所 泌尿器科紀要編集部
606京都市左京区聖護院川原町53 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話 771-8111 学内5806
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入